

2019年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492100092	事業の開始年月日	平成21年11月1日
		指定年月日	平成21年11月1日
法人名	株式会社 メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手鎌倉の杜		
所在地	(247-0066) 鎌倉市山崎756-2		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	定員計	18 名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和2年2月21日	評価結果 市町村受理日	令和2年6月23日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/
----------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鎌倉という由緒ある土地の環境も静かなお洒落なホームで、毎日活気があり楽しみがあるホームを目指しつつ、安心して生活して頂けるよう自立支援に向けて努めております。

月に2回の訪問診療、週1回の訪問看護を実施し病気の早期発見、早期治療を行い医療との連携を図っております。

入居者様の住み慣れた地域で御家族、ご友人、近隣の方々が、いつでもホームにお越し頂けるよう、繋がりを大切に笑顔溢れるホームを目指しております。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵠沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和2年6月4日	評価機関 評価決定日	令和2年6月19日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所はJR「大船」駅から湘南モノレール「富士見町」若しくは「湘南町屋」下車、または、京急バス「山崎」下車、徒歩7分程の閑静な住宅街にあります。緑に囲まれた事業所は、居ながらにして四季の移ろいを感じることが出来ます。全室東南向きの日当たりの良い住環境の中で、利用者は安心して生活を送ることが出来ます。

<優れている点>

建物は内装・外装までカラーコーディネートされ、生活の場として落ち着いたある内装や家具を整えています。居間・食堂も明るく、大きな窓は開放的な空間を演出し、居心地の良い環境となっています。利用者の思いや出来る事を見つけ出し、家庭的な環境の下で役割のある暮らしが出来るよう支援しています。利用者の活動の一環として一緒に食事を作ることを考慮して対面のカウンターを設置し、火を使わないIHレンジで安全です。家族の面会時には積極的に声掛けし、意見や要望を聴き、サービス向上に活かしています。家族から新型コロナウイルスによる面会自粛の中で、面会に代わる「利用者の手紙や電話取次ぎの要望」があり、月に1回、利用者が絵手紙を書き、家族に便りを出す対応を速やかに取っています。

<工夫点>

毎月、管理者は家族一人ひとりに「お便り」を発行し、利用者の普段の姿や本人の医療情報などを報告し喜ばれています。レクリエーションや園芸、調理など職員は輪番で企画から実施まで責任ある分担制を取り入れています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームちいさな手鎌倉の杜
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	入居者様、ご家族様には笑顔で心のこもった挨拶やサービスを提供できるよう努力に励んでおります。	日々の生活の中で利用者一人ひとりが活動できる場を作り、高め合い、感動を呼ぶ行動を共有し、「ありがとう」と素直に言える関係性を築くように心掛けています。「活躍・感動・感謝」の3Kの理念を大切にしています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	お散歩の時には笑顔で挨拶をさせて頂いております。隔週土曜日には、移動パン屋さんの中庭に招き、ご近所の皆様と買い物を楽しんで頂いています。運営推進会議には、町内会の方にも参加させて頂いております。自治会に加入のため回覧版で地域の出来事の把握に努めております。	散歩や外出時には笑顔での挨拶を心掛けています。地元中学校の合唱部や日本舞踊、フラダンス、手品ショーなどのボランティアの来訪があります。また、事業所の各種行事やイベントには近隣の人々に声掛けし、参加を得て地域との交流を深めています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	年に1度の家族会に地域の方をお招きしご様子をご覧頂いております。入居相談に入られた方々の悩み事や支援方法をアドバイスさせて頂いたり、運営推進会議では、ご入居者様のホームでの暮らしをお話し、認知症への理解を深めております。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回、運営推進会議を開催し、事業所の現状報告、地域情報の交換を行っております。また、関連機関の事例共有をさせて頂き、自ホームの参考にさせて頂くなどサービス向上に努めております。	運営推進会議は2ヶ月に1回、定期的で開催しています。議事の内容は職員間で共有し事業所運営に活かしています。最近の会議では、事業所が希望するボランティア募集への協力申し出や出席委員からの認知症ケアの勉強会開催の提案などがあります。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市とは定期的に空室状況の報告を行っております。また、施設の入居者様の相談等もさせて頂いております。地域包括支援センターとは情報交換を行い認知症家族の勉強会などを開催する予定です。	行政とは運営推進会議議事録の提出や介護認定更新手続き、空き室情報提供などで連携を取り、懸案事項の相談、アドバイスを得るなどして協力関係を築いています。介護相談員が2ヶ月ごとに来所し利用者と面談しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の防止については年4回研修を行い、ミーティングでは身体拘束をしないための支援方法を定期的に検討しております。出入口の施錠につきましては、防犯上の安全のための対応としてますが、拘束性はなく、ご入居者様の出入りのご要望には適宜対応させて頂いております。	身体拘束委員会を定期的に開催し、身体拘束の防止に努めています。ミーティングで身体拘束防止の勉強会を開催し、グループワークで意見を出し合い、それぞれが考える機会を持つと共に、日々の事故報告やヒヤリハットについて共有、検討し身体拘束のない支援につなげています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	年4回の研修の実施、ミーティング等で虐待防止について周知徹底をしております。また、スピーチロックなどを見たときは、職員同士が注意し防止に努めております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度の理解について研修を行っておりますが、現状は必要な方はいらっしゃいません。ただし常に提案や活用できるように準備しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居に至っては見学会、入居説明会、実態調査、疑問点、理解を得ての締結と数回の日を掛けて慎重に対応させて頂いております。特にお看取りや退去説明は同意を得れるよう丁寧に説明時間を要しております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご意見やご要望を頂くために意見箱を設置しております。直ぐに判断できることは会議で周知徹底しております。判断や反映に時間を要する際は、途中経過の共有を図って改善に努めております。	運営推進会議の場や家族の面会時に積極的に声掛けし、意見や要望を聴いています。家族から新型コロナウイルス自粛で面会に代わる、利用者の手紙や電話取次ぎの要望があり、月に1回、利用者が絵手紙を書き、家族に便りを出す対応を速やかに取っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員はスタッフミーティング、フロアミーティングを毎月実施し意見を出し合える場を設けております。管理者はその意見を抽出し、上司に共有することで運営の早期改善に努めることが出来ております。	管理者は日頃から現場に入り職員とコミュニケーションを図ると共に、スタッフミーティングやフロアミーティングで意見や提案を聴く機会を設け、運営に反映させています。また、最低年2回、職員と個別面談を実施し、意見や要望を聞く機会を持っています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務状況を把握し働きやすいシフト作成を行っています。個人がしっかりと課題を持ち、仕事に取組み、個人の長所を認め生かせる職場づくりがチームとして確立出来ております。特に職員同士の言葉かけが職場環境を良好にしております。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	内部、外部の研修に積極的に取り組む理解を組織が推奨し、職員全員が介護知識の向上に努めています。スキルアップ向上のための実践者研修に参加を進めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	トップマネジメント研修に管理者は参加をしております。また福祉関係の方々との情報交換を適宜行っております。介護ショップ、訪問リハビリ、ワーキングデイなどの専門職との交流で、サービスの向上に繋げております。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	相談から入居までの間に不安なことや困ったことを自ホームなら、どのように解決できるのか、丁寧にお応え致します。また、できる事、出来ない事をきちんとお伝えし、理解を頂けるようコミュニケーションを大切にしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	いつでもご家族様から連絡が出来るようにさせて頂いております、その都度解決に努めております。なお入居の翌日、3日後、1週間は定期的にお電話でご様子をご報告し、1か月後に近況をお便りにしご報告をしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	フェイスシートを作成し、支援内容をの共有を職員と図りサービス対応をしております。また適宜職員が生活の中で気づいたこと、知りえたことを追記することで支援の検討を行っております。なお、丁寧な支援を実施するため居室担当者を設けております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	調理や洗濯、掃除などを共に行っております。食事は同じテーブルを囲み楽しく談笑しながら、時間を共有しております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様との協力体制を大切にしております。風通しの良い関係を築けるよう良いことも、困ったことも素直にご報告させて頂いております。また可能なご要望にはお応えできるように心がけております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	故郷の思い出を忘れずられるよう、日頃から会話にしております。ご家族様のご協力のもと、外出や外食、ご友人、ご親戚のご来訪など、継続的に交流を図って頂いております。	馴染みの人の来訪時には再訪を依頼し関係が途切れないよう支援しています。利用者の特技や趣味を生かしたレクリエーションを日替わりで開催し、誰でもが主役になれるように配慮しています。鎌倉の街並みへのドライブでは思い出話に花が咲いています	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	顔見知りの関係から、お互いを支え合う関係まで、その方に応じて職員が陰ながらサポートを行っております。例えば、カルタゲームでは聞こえづらい方には読み手となって頂くことで孤立せず、皆さんで参加が出来る環境を支援しております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後のお困りごとに対応できるよう連携に努めております。関係施設やご家族様への連絡をすることで、その方々が安心できることを惜しまず提供しております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にご入居者様、ご家族様のご希望やご要望をお伺いしケアプランに反映しております。	本人の希望や要望は、普段の会話や様子、家族からの情報などで把握に努めています。家族から3ヶ月、6ヶ月ごとに意見を聞き把握しています。家族に確認した利用者の思い出の品や歌などを日常生活に取り入れ、コミュニケーションを図るようにしています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	趣味やお仕事を生かし、そろばんやお裁縫など生活時間に反映できるように努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日、申送りや業務日誌を確認しお変りがないか、確認に努めております。ケアプランに沿った支援にも努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	お一人ずつに居室担当者を設け日常の様子を把握し、課題を抽出するにしております。医師、看護師の意見を取り入れながら作成しております。	居室担当者が利用者の日常の様子を把握し、3ヶ月ごとのケアカンファレンス、6ヶ月ごとにケアプランの見直しを行っています。作成に当たってはサービス担当者会議を開催し、利用者・家族、職員、医師、看護師などの意見を入れて作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿って日常を過ごして頂き、体調や行動の変化、言動などを「個人記録」「申し送りノート」に記入し、スタッフ間で情報の共有をし、見直し、支援方法の改善に反映させております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご入居者様の意思を尊重し、ご希望に沿うような個別対応を心がけております。ホーム内で対応できるもの、出来ないものの把握をし、出来ないものについては、ご家族様に相談のもと臨機応変に対応をさせて頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域の老人会や中学生のコーラス部にお越し頂き、手品や傾聴、歌など充実した時間を過ごさせて頂いております。また公園など外出レクに利用させて頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携医療機関による隔週の訪問診療と毎週1回の訪問看護を実施しております。24時間の医療協力体制をしいて病気の早期発見、認知症状の進行に伴う事故やBPSDへの対応に努めております。ほか、訪問歯科、訪問マッサージもご希望者に対応しております。	事業所の協力医の往診のほか、これまでの掛かりつけ医の継続も自由です。整形外科や皮膚科、眼科などの専門医の通院は基本的には家族対応となっています。通院時の情報は支援記録で共有しています。協力医は月2回、看護師は週1回の訪問を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	24時間対応頂ける主治医、看護師との連携で病気や怪我の早期発見治療に努めております。専門医への紹介など迅速な対応を心掛けております。また、ご家族様と共に回復状況等の情報等交換に努め、入退院支援を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご入居時に看取りに関する指針をご説明し書面にて承諾を頂いております。段階ごとにご家族様、主治医、ホーム長、看護師、ケアマネージャーと意向を確認しながら、対応方針の共有を定期的に行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご家族様のご希望と入居者様の苦痛を緩和できる支援に取り組んでおります。職員のスキルを十分に熟知した管理者が中心となって役割に全う致します。	契約時に「看取りに関する指針」に基づいて本人が重度化した場合の対応について利用者や家族に丁寧に説明し、看取りの意思確認をしています。段階に応じて主治医、看護師、管理者、家族が話し合い、方針を決めて支援しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	管理者は実践者研修で急変時の対応を身に付けております。毎日、消防・避難誘導設備の点検を実施し、消防職員の指導のもと、年2回の避難訓練を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	運営推進会議などで地域の情報を行ない、災害発生時に備えております。職員全員が避難訓練に参加し確認を怠りません。近隣のご家族様の助けを求められるよう関係性を築いております。	消防署の職員立ち合いのもと、消火器の取り扱いの研修を含め、年2回避難訓練を行っています。緊急時のマニュアルを整備し通報や連絡網、初期消火、非常階段への避難など実施しています。非常災害用の食糧や飲料水など3日分を備蓄しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	人生の先輩である方々に敬意を払い、対応しております。ご本人のお気持ちを大切に、選択しを持ったサービスに努めております。認知症の症状はお一人お一人違うため、その方に響く声の高さや、スピード、視線、表情に配慮しケアを実践しております。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、その人のペースに合わせた支援を心掛けています。利用者には基本的には「さん」付けで呼びかけ丁寧な言葉かけに努めています。不適切な言動があった時はその場で注意し合ったり、ミーティングで話し合っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人様のご希望が言いやすい環境作りと、信頼関係に努めております。クローズ質問や選択肢のある方法を意識的に行うことで自己決定を促すよう心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	何をしたいか確認をさせていただきます。個性を重視した支援と集団生活の支援を組み合わせることで、過ごしやすく参加しやすいよう配慮しております。楽しかったと思って頂けるような支援を実施しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	整髪やお化粧品、季節に合わせた服装を楽しみながらして頂けるよう、お声掛けを行っております。外出や面会などの目的を持つことで、生き生きとしたおしゃれを展開しております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理レクではお買い物から楽しんで頂けるよう取り組んでおります。日常においては、個人の得意とする場面で野菜を切る、盛り付けをする、お皿を洗うなどお手伝い頂いております。褒めて差し上げる、助かっていることをお伝えすることでやる気を図っています。	食材の購入は業者を利用していますが調理は職員が手作りの食事を提供しています。利用者を交えた食材の買物を担当する「買い物班」と野菜を切ったりする「調理班」とに分担し利用者の力を活かしながら「食レク」と位置づけ楽しんでいきます。外食や板前が握る寿司昼食会も開いています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎食の摂取量と水分量をチェックし、観察しております。栄養バランスは献立に従い調理することで把握し、嚥下などはその方の食べ方に配慮し、料理によって一口大やきざみなど工夫を凝らしております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、口腔ケアを実施しております。できるところまでご自分で行って頂き、仕上げは職員がチェック致します。異常があった場合は歯科医院に連携を取るなど支援を行っております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンの確認を定期的実施。ご自身の力でできる限り行って頂けるよう、ご自身で行きたい時間とは別に、定時のお声掛けを行っております。清潔保持までを見届けております。	利用者一人ひとりの排泄チェック表から排泄パターンや習慣を把握し、トイレへ誘導しています。誘導時には適切な声掛けを行い、トイレでの自立排泄に向けた支援を努めています。失禁をした場合はその人に合った声掛けをし心のケアをするよう支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日、便通を記録し、看護師指導のもと水分摂取量や下剤調整を行い排泄を支援しております。日々の生活の中で、こまめな水分摂取と適度な運動を心がけ、便秘予防に取り組んでおります。個人によっては乳製品などで排便促進を促しております。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご入居者様の体調やご希望に合わせて、週2回の入浴を行っております。お好みの湯温でリラックス頂けるよう30分～60分かけた支援を行っております。ご自分で出来る事は率先して行って頂きます。	一人ひとりの習慣を把握し、個別の入浴支援をしています。入浴前にバイタルチェックをして清拭することもあります。基本的には週2回ですが本人の体調に応じています。湯船の湯は利用者ごとに交換しているので入浴剤を使って季節の香りを楽しんでいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活リズムや体調が崩れないよう、お一人お一人の体力、体調に合わせて適度な休息を取って頂いています。日中は適度な運動や気分転換をはかり、夜間に十分な睡眠を取って頂けるよう雰囲気づくりにも工夫をしております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	主治医、看護師と相談しながら処方致します。薬を受取る際には、薬剤指導を受け、薬剤情報をスタッフ全員が共有しております。服薬支援時には複数のスタッフで薬包の氏名、日時を確認し、服薬事故防止を徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	入居者様それぞれの希望に添った楽しみを大切にしております。散歩に行きたい方、手作業が得意な方など個別支援を図っております。大きな作品を作り、展示することで喜びを感じて頂いております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日には、中庭で外気浴を楽しみます。また、月に数回のドライブや近所のカフェ、スーパー、郵便局などに歩いて行き社会との繋がりを大切に気分転換を図っております。	気候や体調に配慮しながら利用者の希望に合わせて近隣へ散歩や買物に出掛けています。広い中庭にあるウッドデッキで日光浴をしながら気分転換しています。初詣や近くのフラワーセンターでの花見、江の島へドライブなど戸外の空気に触れています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金は原則として所持されておりません。ただし、レクの一環としてスーパーで買い物し精算頂くなどのシーンを持たせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望があるときは、電話の取次ぎを行っております。携帯電話をお持ちのご入居者様もおられ、ご自由にご家族様と連絡をされておられます。また、ご家族様やご友人宛に私信の葉書や年賀状を書かれる方もいらっしゃいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	わかりやすいよう、お部屋の表札やトイレの表示など掲示しております。常に清潔を保ち、危険なもの置かず住みやすい環境作りを行っております。展示物や季節の花を楽しめるように心がけております。	大きな窓ガラスのあるリビングは2階まで吹き抜けて階段の中2階の踊り場は居心地の良い面談所になっています。広い中庭のウッドデッキでは季節感を感じながら外気浴を受け、おやつや食事を楽しんでいます。利用者同士の関係性に配慮してリビングの席の配置にも気を配っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングはどなたでも利用できるよう開放しております。配席にも配慮し気の合った方と談笑したり、ソファでお一人でくつろぐなど様々な使い方をして頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	個人に合わせた居室づくりをご家族様と行っております。自宅で使い慣れた家具や写真を設置することで、安心して休んで頂ける空間だったり、物が合っただけで気が散ってしまう方には寝具のみの設置とさせて頂き工夫しております。	自宅で使用していた家具や写真など居室に設置し環境の変化による影響を極力抑えるよう努めています。居室での転倒防止に向け、レンタルで身体に合った低床ベッドも使用しています。居室担当者は1年毎で輪番し、衣替えや整理整頓など支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	悩まずに過ごせる工夫として様々な記名を行っております。環境整備に努め、動線を配慮し、死角がないよう安全に努めております。		

事業所名	グループホームちいさな手鎌倉の杜
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「愛・生きる喜び・快適な生活」の3Lの精神を理念とし、入居者様、スタッフひとりひとりの幸せが大きな幸せにつながるよう豊かな生活の実現に取り組んでいます。毎朝、仕事前に読んでおります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	散歩や外出では挨拶を心掛けております。行事イベントに、近隣の方にお声掛けをして参加して頂き、連携強化に努めています。運営推進会議には、町内会の方にも参加して頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	推進会議では、ご入居者様のホームでの暮らしをお話し、地域での役割を話し合っており、認知症への理解を深めて頂いています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議を開催し、事業所の現状報告、情報の交換を行い、ご意見、ご指導を頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターと情報交換を行って頂き、イベントにも参加して頂いております。支援機構からは2か月に1度、入居様の傾聴や相談のお時間を設けて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の防止についてミーティング等で周知しています。ご家族様、地域の方に自由に入出入りして頂くために門扉を解放しましたので、玄関の施錠はさせて頂いておりますが、各居室は自由の出入り出来る構造になっており、身体拘束をしない介護を実践しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティング等で虐待防止について周知徹底しており、今後も適時に指導を続けていきます。また、職員同士が相談できる環境とストレスをためないライフワークバランスを心掛けております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の活用の支援を行なえるよう、今後も勉強する機会を設け、必要な場合は提案しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居相談時に当ホームの理念、方針、規約のご説明を事細かにしています。十分な説明をすることで疑問点をお互いに確認し納得して頂いております。また各フロアの特徴なども知って頂く機会を設けて納得の契約をお願いしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場や、御家族様が来所された際にご入居者様の現状を報告し、その際にご意見、ご要望を伺っております。その後は、各フロアに情報周知を徹底しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のスタッフミーティング、必要に応じたフロアミーティングを開催し、入居者様の状態、対応の仕方を話し合い意見を出し合っています。管理者自ら現場に入り意見を聞く姿勢を行っております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業規則に基づいて勤務し、人員体制を手厚くする事で日々の業務を确实・丁寧に実践出来る様、環境の整備に取り組んでおります。代表者は常に人員体制の把握に努め、業務が円滑に行われているか環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的な勉強会に参加し、再度ミーティングの時に内容を確認し、職員全員の介護技術向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同業者の方々との交流を持ち意見交換や情報交換を行っています。リハビリなども日常生活で行かせる方法などご教示頂いています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	実態調査を納得できるまで丁寧に行います。新しい環境の中にご入居者様が馴染める様、また他の入居者様への架け橋となり職員が環境づくりに努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	管理者がご家族様と随時連絡を取っております。管理者はご入居者様の一日の様子をお知らせしご要望をお聞きしながら、お互いに話し合う事で良い関係、信頼関係を築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居者様の今までの生活環境や、ご性格、既往歴を把握し、必要なサービスを話し合い、ケアプランを作成、実践しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様のお気持ちを大切に、職員と一緒にホーム内の掃除、食事作り等をして頂き、感謝の言葉をお掛けし共に生活をしている関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とご本人様の関係を良く把握し、配慮しながらご家族様と共にご本人様を支えています。日常のご様子を職員がご家族様に共有し、更にアドバイスを受ける関係づくりが構築出来ております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご友人、ご親戚の来所、お電話の取次ぎや手紙での連絡等は自由にして頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人ひとりの心身状態や気分、感情の変化をみながら、興味を持っておられる事を把握し対応しております。職員が間に入りレクの参加を促して皆様に楽しめる時間を作っております。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後のご家族様との交流は事業所側として、積極的に行ってはおりませんが、ご家族様からのご連絡には最善な対応を心掛けております。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様に確認できる場合はご希望やご要望を普段の生活の中でお聞きし、無理のないケアプランを心掛けています。できない場合はご家族様からのご意向を必ず確認しております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴、ライフスタイルをご家族様よりお伺いしております。介護サービスの有無等のお伺いし、ご本人様に合ったサービスの提供を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェック、食事量、水分量のチェック、排泄チェックなど徹底して行っております。起床時間、睡眠時間なども記録し体調の様子を把握しております。日常のできる事を行って頂くことでADLの維持に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者様の日常の様子を把握し、3か月毎にケアカンファレンス、6か月毎にケアプランの作成をスタッフ、医師、看護師の意見を取り入れながら、ご家族にご説明をしております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿って日常を過ごして頂き、体調や行動の変化、言動などを「個人記録」「申し送りノート」に記入し、スタッフ間で情報の共有をし、見直し、支援方法の改善に反映させております。できる事に着目して支援をサポートしております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご入居者様の意思を尊重し、ご希望に沿うような個別対応を心がけております。またそのためのツールを増やす様、職員の体制づくりにも努めております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	図書館で紙芝居を貸し出し頂いたり、市の公園など、外出レクに利用させて頂います。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携医療機関による隔週の訪問診療を実施しており、24時間の医療協力体制をしいて病気の早期発見、認知症状の進行に伴う事故やBPSDへの対応に努めております。また、看護師、歯科医師の診療も週1回行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ホーム専属の看護師により週1回の訪問看護を行い、24時間のオンコールで密に連携をとっています。看護師との連携を取り心身のチェック、医療面のアドバイスを受け異常時には的確な指示の下、介護を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師との連携を図り病気や怪我の早期発見治療に努め、可能な限り長期入院を避けるようにしています。また、ご家族様と共に回復状況等の情報等交換に努め、退院支援に結びつけています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に看取りに関する指針をご説明し書面にて承諾を頂いております。段階ごとにご家族様、主治医、ホーム長、看護師、ケアマネージャーと意向を確認しながら、対応方針の共有を図っています。それぞれの役割を大切にチームとして取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルを作成し対応しております。看護師、主治医と連携を取り迅速に的確な対応が出来るようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎日、消防・避難誘導設備の点検を実施し、消防職員の指導のもと、年2回の避難訓練を行っており、運営推進会議などでも情報交換を行ない、災害発生時に備えております。また、市との連絡体制も築いております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に敬意を払い、お一人お一人のその時の状況やお気持ちを大切に考え、生活スタイルや個性を踏まえながら、親しみを持って頂ける言葉掛けや、安らぎを感じて頂ける対応をさせて頂いております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや希望を大切にし、会話の中で感じ取り、ご本人にとって何が必要かを考え、自己決定できるよう、お一人お一人にあった形で、いつでもお気持ちを伝えやすい雰囲気づくりと、答えを引き出せるような言葉掛けを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様を主体とし、日常生活を支援しております。夜間の入浴のみ医療体制など踏まえると午前中の実施とさせて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	ご自分で選べない方には季節に合わせた身だしなみを支援するとともに、ご入居者様と一緒に服を選ぶなど、個人の好み、自主性を尊重して支援を行っております。また、おしゃれを楽しんでいると思って頂けるよう、お写真などを撮って飾っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	もやしの芽トリ、ささがきゴボウなど調理をお手伝い頂き、味見、盛り付けテーブル拭き等、出来る事をお手伝い頂いております。職員も同じお食事を摂りコミュニケーションを大切にしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食材は毎日委託業者から配送され、管理栄養士の作成した献立を、ご利用様と一緒に調理し提供しております。また看護師の指示のもと、きざみ食やペーストなど各個人のADLに応じた食事形態に加工を行い提供を行っております。また自助具の工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎朝の起床時にうがい薬で口を洗って頂きます。毎食後には、お一人ひとりに状態に応じた、口腔ケアの支援を実施しております。また、就寝前には義歯をお預かりして洗浄剤に浸け清潔の保持に努めております。異常時は歯医者に共有し治療に努めています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンの確認を行い、定期的なトイレ誘導の実施、ご様子を見てお声掛けによるトイレ誘導を行います。尿とりパットやリハビリパンツの交換を行い、清潔の保持に努めております。日々の陰部洗浄も欠かしません。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日、便通を記録し、看護師指導のもと水分摂取量や下剤調整を行い排泄を支援しております。また日々の生活の中で、こまめな水分摂取と適度な運動を心がけ、便秘予防に取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ご入居者様の体調やご希望に合わせて、基本的には週2回の入浴（夏場は3回ほど）を行い、無理なくゆっくり入浴して頂いています。ADLによりシャワー浴などの方法も取っています。入浴以外にも、洗髪、足浴、清拭を行っております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝前の環境作りから努めています。生活リズムや体調が崩れないよう、お一人お一人の体力、体調に合わせて適度な休息を取って頂いたり、日中は散歩や外気浴で適度な運動や気分転換をはかり、夜間に十分な睡眠を取って頂けるよう支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	提携薬局より薬を受取る際には、薬剤指導を受け、薬剤情報をスタッフ全員が共有しております。服薬支援時には複数のスタッフで薬包の氏名、日時を声を出して確認し、押印のチェックで服薬事故防止を徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご入居者様の性格や得意な事を把握し、掃除や洗濯物のお畳み、植木の水やり、献立の記入など、その方の能力を活かし、皆様の役に立って頂く事で、生活に張り合いと喜びを持って頂ける様、支援を行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日には、ご入居者様のご希望を伺ったり、職員から声掛けををさせて頂き、中庭やホーム周辺や近所の公園まで散歩に同行させて頂いております。ドライブなども行っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金は原則として所持されていませんが、お買い物を頂くレクリエーションをご用意するなど、お金を使える環境をご提供しております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望があるときは、電話の取次ぎを行っております。携帯電話をお持ちのご入居者様もおられ、ご自由にご家族様と連絡をされておられます。また、ご家族様やご友人宛に私信の葉書や年賀状を書かれる方もいらっしゃいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	清潔保持に努めております。大きな窓ガラス、高い天井は開放的な居住空間で皆様、穏やかに過ごして頂いております。以前開催した行事の写真を掲示したり、花を飾るなど行い、快適な空間の演出に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングは常に解放し、共用のテレビを利用出来ます。皆さんで談笑したりと自由に過ごす事の出来る空間を大切にしています。リビングで新聞をゆっくり読まれりソファでテレビをご覧になられたりと思いいいに時間をお過ごし頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅で使用していた家具等を居室に設置し、環境の変化がもたらす影響を極力抑える工夫を行っております。お箸や日用品や洋服等利用者様が馴染んでいるものを使用させて頂き安心して暮らせるよう支援しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室内は状態に合わせて怪我や転倒を防止する工夫をしております。ベッドの高さやイスの高さなど安全に立位できる高さに設置し転倒防止に努めています。プライバシーに配慮しながら、夜間はセンサーを設置し介護職員の目が届くよう工夫しております。		

令和元年度

事業所名 グループホームちいさな手鎌倉の社

作成日： 令和2年 6月 22日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	個性を生かした支援を、十分な時間を掛けできるようにして行く。	個別のご要望にお応えできるように、ヒアリングし、趣味や特技を生かせるクラブ活動を立ち上げる。	月に2回、1時間ほどの時間を要し開催。料理クラブ、編み物クラブ、散歩クラブなど少人数制で対応。年に1回はクラブ活動を通して完成した作品の展示会を開催する。	12ヶ月
2	34	スタンダード・プリコーションの定着を行う。	新型コロナウイルスで、体験した予防策を日常的に定着化させる。	職員が感染対策について学び、感染源が身近にあることを自覚する。感染経路を断ち、体調管理して免疫や体力を高めるためチェック体制を整える。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月